

平成27年度 第13回教育研究審議会議事要旨

I. 日 時：平成28年3月2日（水）15時00分～16時50分

II. 場 所：尾道市立大学 E棟1階 120会議室

III. 出席者 中谷理事長、菅理事、川田理事、塩川理事、井上理事（事務局長）、
菅経済情報学部長、稲田芸術文化学部長、藤澤日本文学科長、
荒井教務委員長、信木学生委員長、川勝キャリア開発委員長、
邵国際交流センター長、小野広報委員長

陪 席：大下事務局次長、石井総務課長、土岸企画広報室長補佐、神田学務課長

IV. 議事要旨（案）の確認

事務局から、平成28年2月4日に開催した第12回教育研究審議会議事要旨（案）について説明があり、原案のとおりとすることが確認された。

V. 議 案

1. 平成28年度 一般前期入学試験・私費外国人留学生入学試験合否判定について
委員から、標記議題について、合格者判定資料により合格者判定結果の説明があり、審議の結果、承認された。

（1）経済情報学部経済情報学科（菅経済情報学部長より説明）

一般前期の定員は100名で、志願者688名のうち611名が受験し、190名を合格と判定した。

私費外国人留学生は、受験者7名のうち4名を合格（うち中国3名、韓国1名）と判定した。

（2）芸術文化学部日本文学科（藤澤日本文学科長より説明）

一般前期の定員は30名で、志願者141名のうち130名が受験し、45名を合格と判定した。

私費外国人留学生は受験者5名が受験し、合格者なしと判定した。

（3）芸術文化学部美術学科（稲田芸術文化学部長より説明）

一般前期の定員は23名で、志願者91名のうち89名が受験し、29名を合格と判定した。

私費外国人留学生は、志願者がなかった。

2. 平成28年度教育研究審議会委員の追加について

委員長から、標記議題について、資料により、教養教育委員長を新たに委員として加える旨の説明があり、審議の結果、承認された。

この度の追加により、委員数は14名（定款の定数14名）となった。

3. 国立嘉義大学応用経済学科と尾道市立大学経済情報学科の教員交流覚え書き（案）
について

委員から、標記議題について、資料により、両校教員の1年以内の短期滞在

研究やミニカンファレンス、共同研究事業を行う旨の説明があり、審議の結果、承認された。

4. 学位記受領代表者、学長賞授与者について

委員から、標記議題について、資料により、各学部学科卒業予定者並びに各研究科卒業予定者の推薦があり、審議の結果、承認された。

5. 平成27年度 学長賞・学長奨励賞について

標記議題について、芸術文化学部長並びに日本文学科長から、学術研究活動に関する該当者及び団体の推薦について、学生委員長から、社会・文化貢献活動に関する該当者及び団体の推薦について、それぞれ資料により説明があり、審議の結果、承認された。

6. 公欠の細則の改正について

委員から、標記議題について、資料により、従前からの運用事項を明文化規定する旨の説明があり、審議の結果、承認された。

7. 平成28年度 年度計画について

事務局から、標記議題について、重点取組項目他各事項の目標達成のために必要な措置等について、資料により説明があり、審議の結果、承認された。

なお、重点取組項目へ地域貢献の項目を加える意見が出され、承認された。

8. 推薦入学試験の配点公表について

委員長より、前回の教育研究審議会で課題となった、経済情報学部一般推薦入学試験から導入される小論文、英語からなる総合問題の学力評価に関する配点配分並びに全学部全学科で実施される推薦入学試験科目の配点公表のあり方について、各学部学科で検討し、次回の教育研究審議会までに結論を出すよう、指示がされた。

VI 報告事項

1. 教養教育科目「尾道学入門」の非常勤講師の採用について

事務局から、標記事項について、資料により新たな非常勤講師の採用について、報告があった。

2. 2017大学案内について

委員から、標記事項について、表紙部分のデザインが決定された報告とともに、実物が披露された。

以上